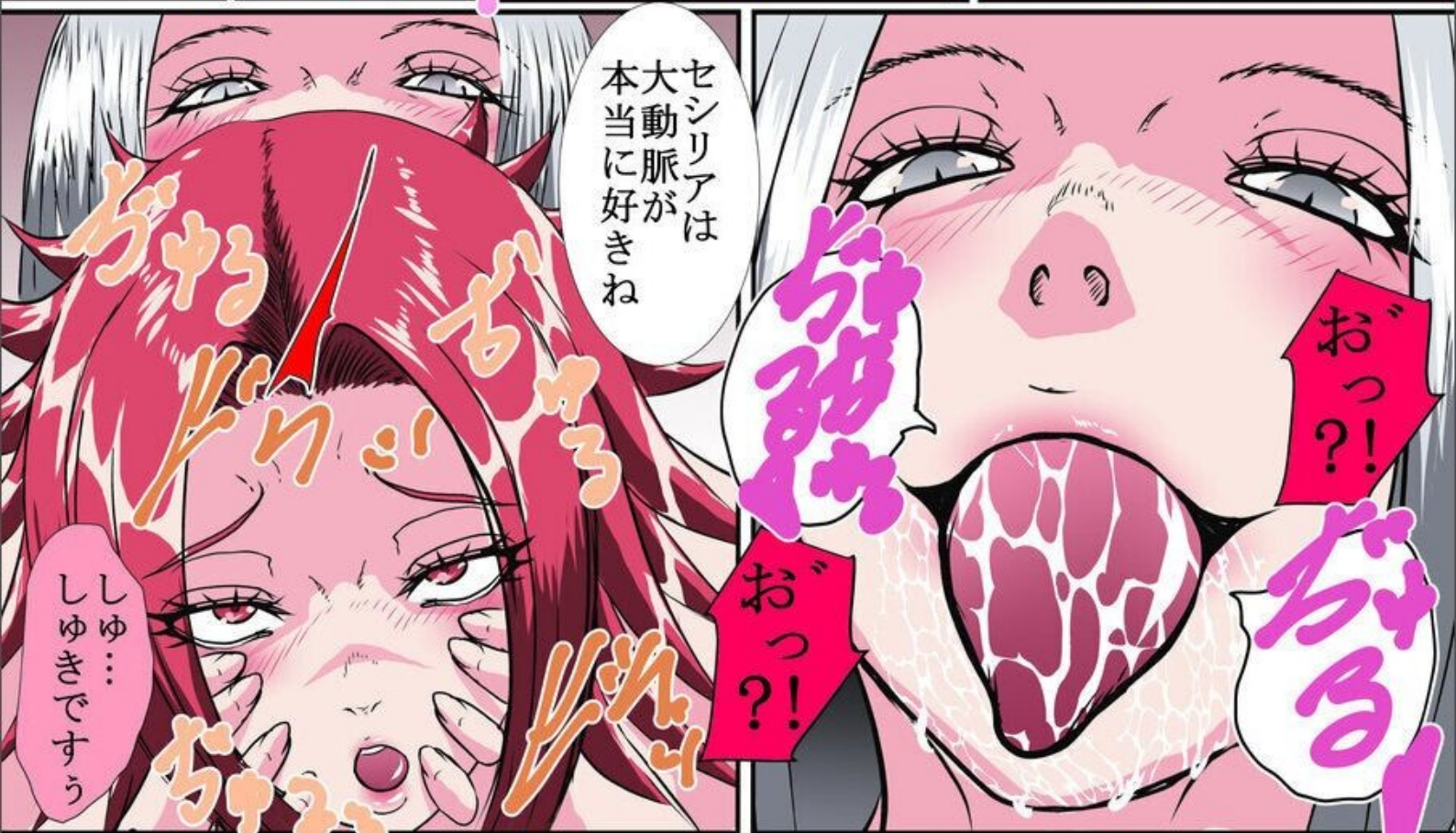
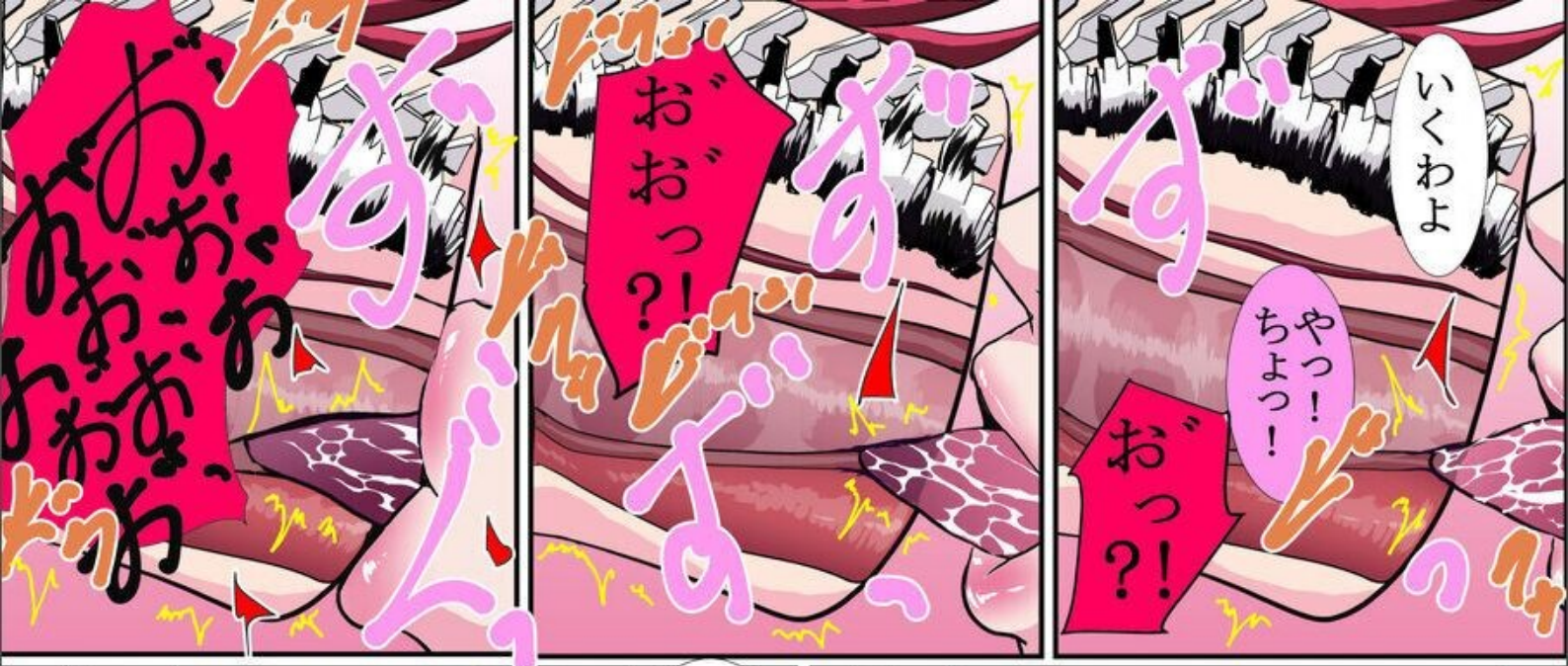




ネックコレクターII

ふたなり

首オナホ







ん
ん
ん
ん
っ



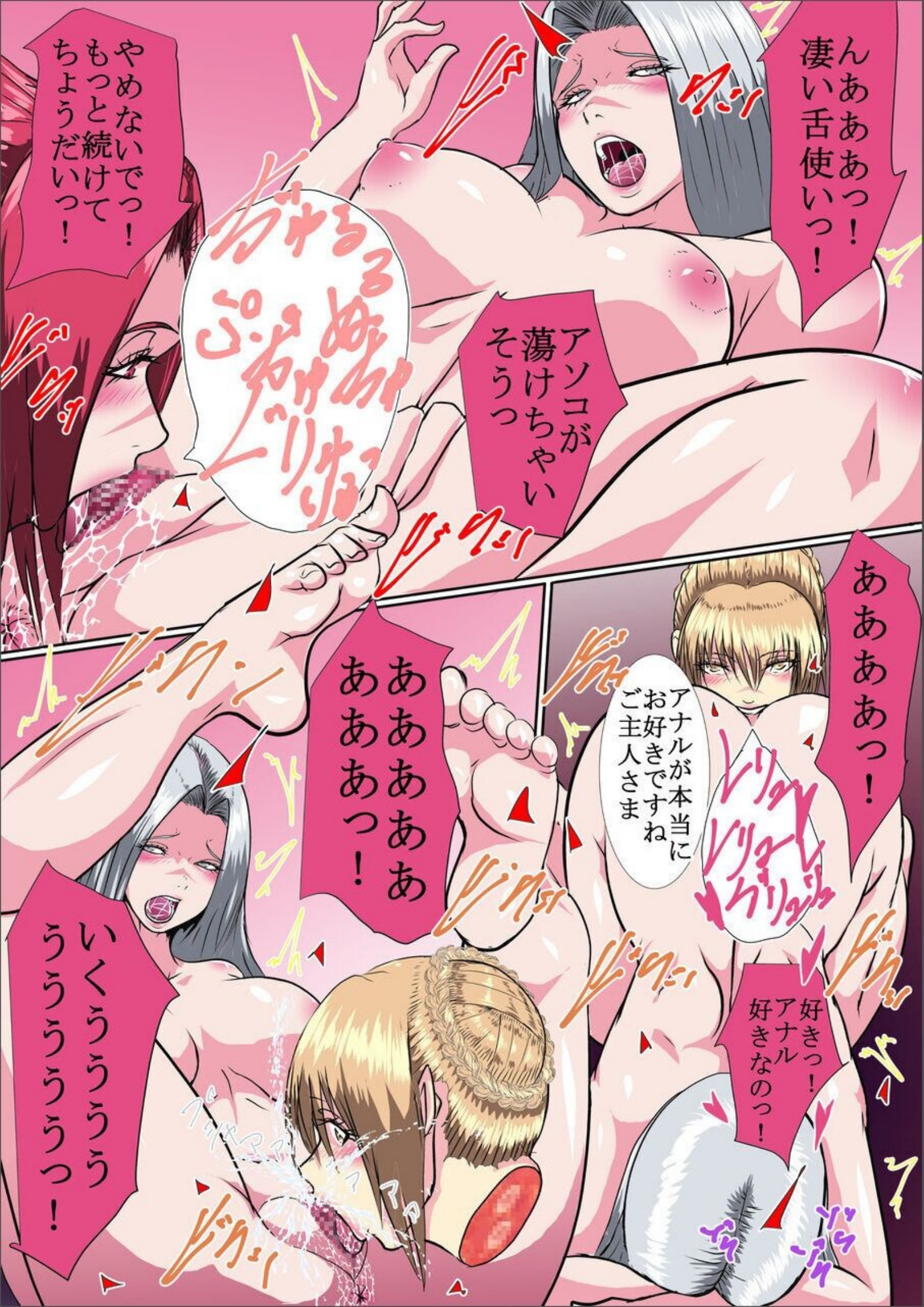
ちゅるちゅる

あああん♡

それは
そう
だけ
ど

こんな
上手に
なるん
で……

これじゃ私が
虜にされちゃう
じゃないの



え？

私の過去の
話が聞きたい？

駄目
かしら？

いいえ、
ただちよつと
意外だったから

私の過去に
興味があるとは
思つて無かった

べ：別に
そこまで
興味は無い
わよ

あら、
ツンデレね

だいつて

これから長い
付き合いになる
訳でしょ？

少しくらい
お互いの事
知つとくべき
じゃない？

そうかもね
じゃあ何を
話そうかしら

じゃあ
やっぱり

あの話
かしらね



別名 雷嵐の双剣

親衛隊長 アレイヤーゼ



その娘

第四王女 ミレファ



エストウピニアの
黄色い薔薇

王妃 イライザ

内通者は
メイド長
ミケラ

彼女の密告により
エストウピニア城は
一夜にして陥落した

この男の名は
傭兵団長ダニド

クソ野郎の前にも
超を何個つけても
足りない男

ダニドは
報奨金を
受け取らず

エストウピニアの
3美女を雇い主に要求し
それは快諾された

3人の美女は
散々レイプされた
挙げ句

首を
落とされ

そして
それでもまだ
生き延び
続けていた

そしてそれを
可能にして
いるのは私の力

死してなお
続く地獄

この光景は
神などいない
事の証明

男達は
その変化など
歯牙にもかけない

苦痛よりは
快感を与え
ようと思った

なら
せめて

何故自分に
こんな力が
宿っているのか

どんな力も
神の恩寵？

ぐおおっ！

そんな理屈は
気休めにも
ならない。

これは
紛れもなく
悪魔の所業。

ぐうっ！
出すぞっ！

私は悪魔……
悪魔の使いだ

それだけは
誤魔化しては
ならない

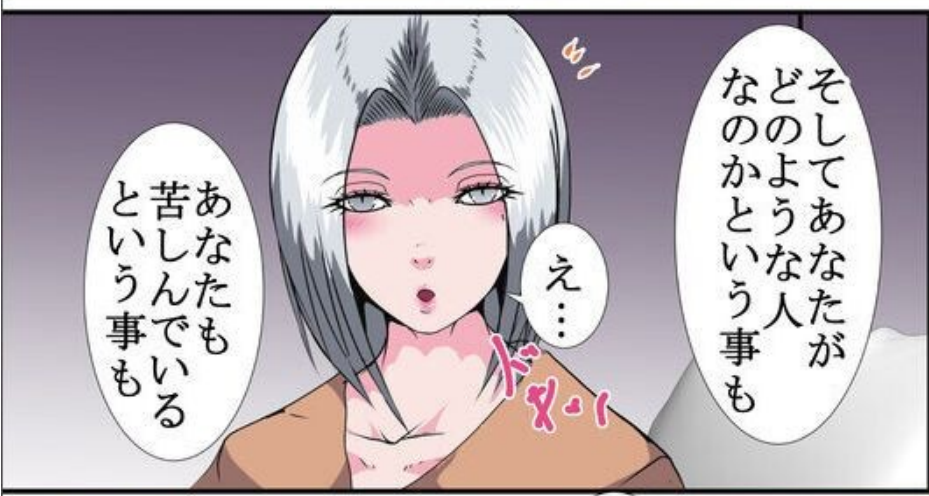
それが彼女達の
苦痛に対する
せめてもの償い



決してお前のはずだ

頼む

...



そしてあなたが
どのような人
なのかという事も

え...

あなたも
苦しんでいる
という事も



た...のみ...
つて...

何で私に...

お前の力
なのだろう？
私達がまだ
生きているのは

それ...
それは...



今は厳しい
時代だ

長い冬が終わり
人々は餓え

誰も誰かを
助け出す
必死だ



隠す必要は
ありません

操られて
いる方
には分かります

誰が力の
主なのかは



お前のような
少女が一人で
生きるなど
不可能と
言っている

このような
力に頼るのも
無理からぬ事だ





ふふふ…
やつのけたわ

見たか
王族貴族共

お前達に変わって
これから私は私が
一生安泰よ

今からお前等を
売った金をおかずに
オナニーしてやるわ

地獄から
見てるがいい

んんんんっ

めちやめちや
濡れちやつてる

うふふ…

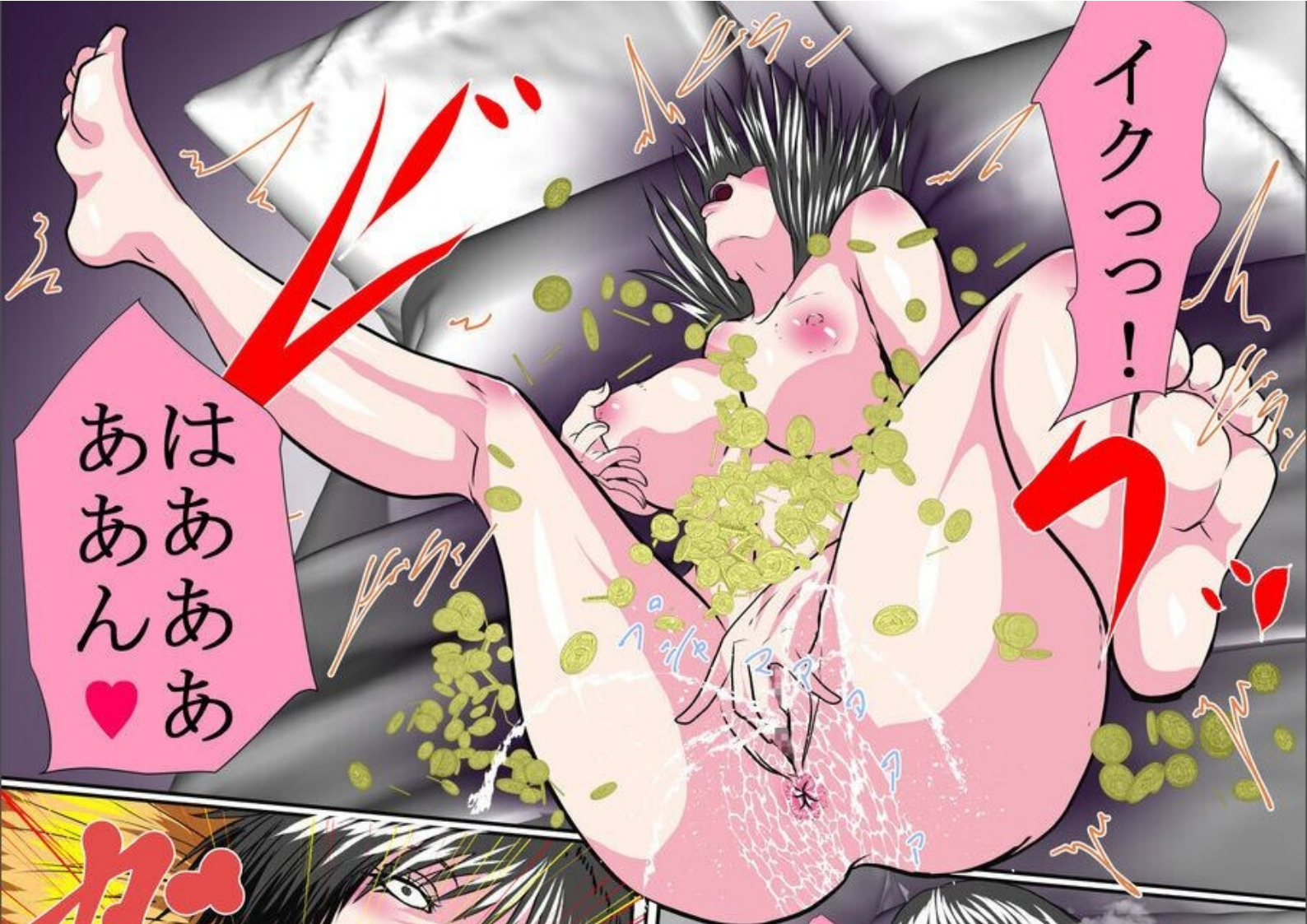
こんなに
いい気分なのは
生まれて始めて

はっ…

はっ…

はっ…

はっ…



イクっつ!

はぁあぁ
あぁん♡



はっ...

はっ...

はっ...

ミケラ
お疲れ様

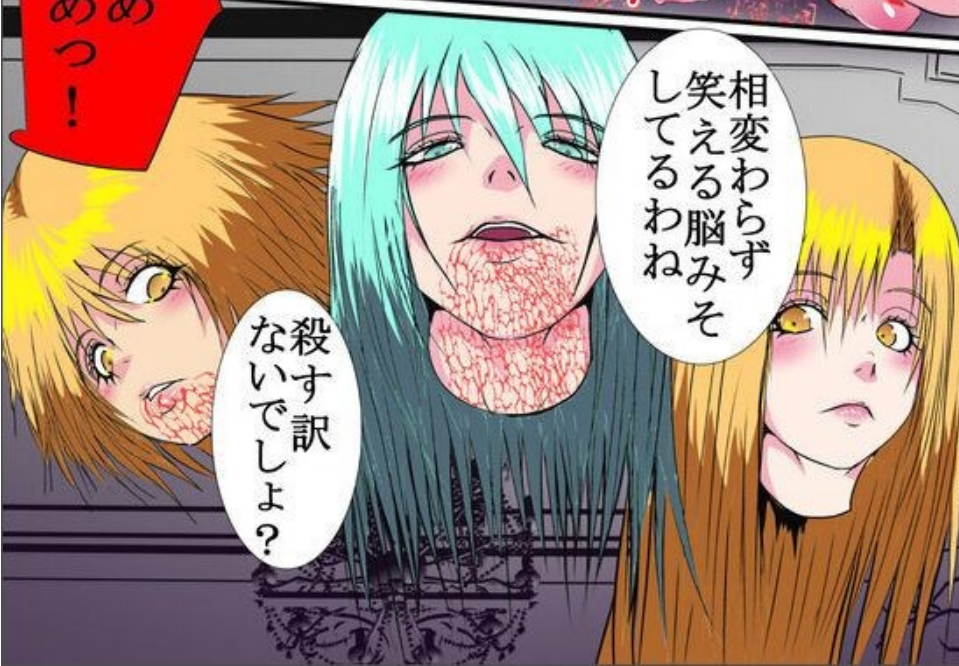


これだけ
有り余る
お金を持って

やる事が
一人エッチ
なんて

なんとも
しみたれ
てるわね

え?





ふーおおお

ぐーおおお

いぎやあああ
あああああ！

なんだよ
うるせえな
クソが！



復讐なんて
考えた事は
無かった。

ぎやあああああ

うわああああ

とにかく
生きるのに
必死だった



か……
かしら……

なんだドラスク？
何かあったのか？



チンコ噛み
ちぎられた……

反乱だ

あのクソガキ
裏切りやがった……

男たちの
慰み者に
なりつつ

屈辱の中
必死に生きる事に
しがみつく存在

無力さに
押しつぶされて
悔しくても

何も抵抗
出来ない
無力な存在

私に何が
出来る？

こんな
私に...？

お前が無力な
存在だって？

何を言って
いるんだ

お前の
力があれば

出来ない事など
何も無いだろうに



ド
ン

ン

ン



最悪の日々の
思い出だけど

結局あれが、
今の私の
原点かしらね

エッチな事も
その方たちに
教わったん
ですか？

え…？

ちよつと
ちよつと

今の感動的な
話を聞いて

最初に気になる
部分がそれなの？

いえ！
そういう
訳では…っ

ポ

首オナホで
お仕置き
しちやおう
かしら

えええええ
えええええ
えええええ
?!え

そういう
悪い子には

め

